



# 年頭のごあいさつ

2018年の輝かしい新春を迎え、町民の皆さまとともに心からお慶び申し上げます。旧年中は、皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解・ご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年、気象の周期的変動が激しく、農作物の生育が心配されましたが、各作物の収量・品質とも良好な作物となり、8年連続で豊穡の秋を迎えることができ、改めて農業者の皆様や関係機関のご努力に敬意と感謝を申し上げます。

さて、近年の農業情勢は、日欧EPAやアメリカを除いたTPP11に代表される国際貿易の枠組みの中で、公然と保護政策からの脱却が論じられるなど、激動する米政策を始めとして農業政策全般に市場経済の論議が影響し始めており、これまで以上に厳しさを増しています。平成30年産米から政府主導の生産調整と米の所得補償が廃止されますが、今後はさらに地域間競争の激化が予想され、農業王国北海道の底力が試されることとなります。

こうした中、本町にあっては、厚幌ダム建設工事が佳境を迎えており、昨年10月2日に灌水試験が始まり、順調であれば本年5月の連休ごろには満水（サーチャージ水位）となる見込みであり、その後の点検作業を経て悲願であった完成へと向かいます。関連事業の国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備事業、厚真川総合開発事業、統合簡易水道事業も順調に進捗しており、これら大型公共事業の計画期間内完成に向けて引き続き関係機関一丸となって取り組んでまいります。

昨年10月に衆議院議員総選挙を経て発足した第4次安倍内閣は、デフレ脱却と人口

減少および少子化を克服するため「生産性革命」「一人づくり革命」を掲げ、誰もが生きがいを感ぜられる「一億総活躍社会」を目指すとされています。本町では、既に、将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、子育て世代の経済的負担の軽減策のほか、安心して子どもを生み育てられる環境づくり、学校教育・放課後教育などの充実を図ってまいりました。また、高い評価をいただいている高齢者福祉施策のほか、各分野での担い手育成と創業や投資を促進し、古民家再生や空き家対策、高齢者向け住宅政策、田園回帰ムーブメントの取り込みなど活力ある生産空間と生活空間の形成に取り組んでいます。

昨年の11月には、こうした取り組みに対し、自らが創意工夫により、優れた施策を実施し、地方自治の充実発展に寄与した市町村として地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰を受賞しました。先輩諸賢のご指導と関係機関のご協力、そして町民の皆さまの不断のご努力に改めて敬意と感謝を申し上げます。

本年も厚真町の地方創生総合戦略と第4次総合計画の着実な推進を図り、「みんなが輝き、支持され選択されるまち」、「みんながたい安心・安全なまち」、「あつま」を目指して、町民の皆さまとともに山積する諸課題に積極果敢に取り組んでまいります。厚真町にとって平成30年が大いなる飛躍の1年となるよう、職員とともに全力を傾注してまいりますので、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から町議会に対しご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

昨年は顧みますと、北朝鮮による核実験や相次ぐミサイル発射が行われ、早朝に町の防災無線を通じて全国瞬時情報システム「Jアラート」が鳴り、弾道ミサイルが北海道上空を通過し襟裳岬沖の太平洋上に落下したことは、皆さまも記憶に新しいことと存じます。皆さまにとって、これほど心配した状況はなかつたと思えます。政府には、緊張感をもって国民の安心・安全の確保に万全を期すようお願いいたします。

国内経済は、金融・財政政策等によりデフレ脱却まであと一歩の感があり、さらに、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う建設投資の増加や観光需要の期待感から景況の持ち直し感がありますが、地方は、そのあおりを受け人手不足や原材料の高騰、人口減少等に伴う市場の縮小で経営環境は厳しく不透明感が漂い、米国の脱退表明したTPPやEUとのEPA協定大枠合意もあり、本町の農業や産業、町民生活に与える影響を大変心配しているところがございます。

また、昨年は九州北部豪雨災害が発生し甚大な被害がございましたが、

本町におきましては、大きな災害もなく総じて平穏な1年であったと思えます。10月には、洪水調整の治水、農業用かんがい用水・水道用水の利水、河川環境の保全など多目的機能を持つ厚幌ダムが、平成31年供用開始に向け灌水を開始したことは、誠に喜ばしいことと存じます。

水稲をはじめとする農作物は、平年より良い作物で豊穡の秋を迎えることができました。このことは、農家の皆さまや関係各位の努力の賜物であり、皆さまのご尽力に對しまして、心より感謝を申し上げます。

私たちの厚真町は、先人の方々が幾多の苦難を乗り越え努力を重ねてきた結果、農林漁業や商工業などの産業が町を力強く豊かにしてまいりました。次の厚真町を担っていただく若い人々に、かけがえのないこの町を深い愛情と強い思いを込めて引き渡すことが、私どもの仕事でございます。

若い方も高齢の方も住み続けた町を目指して、議員一人ひとりが、議会の使命と議員の職責を認識し、努力を傾注する所存でありますので、本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が活力にあふれ、町民の皆さまが笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

公職選挙法の規定により、議員から町民の皆さまへの年賀状は失礼させていただきます。

みんなが輝き、支持され選択されるまち“あつま”を目指して

厚真町長 宮坂 尚市朗



住み続けたい町を目指して

厚真町議会議長 渡部 孝樹



## ひとのうごき

平成29年12月15日現在 ( )内は前月比

人口 4,661人 (+1)  
男 2,296人 女 2,365人

世帯数 2,158世帯 (+2)

平成29年12月1日～15日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載についての確認ができた方を掲載しています

みなさんの声をお聞かせください

・こんな記事を読んでこう思った。  
・こんな疑問をもっている。

など、どんなことでも結構です。

※紙面は無記名ですが、住所や氏名、年齢は伺います。

まちづくり推進課企画調整グループ  
☎ 27-3179 FAX 27-2328

「広報あつま」はホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.atsuma.lg.jp/office/>

広報あつまの電子書籍はこちらから。  
[www.hokkaido-books.jp](http://www.hokkaido-books.jp)

Hokkaido books

北海道内のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト「ホッカイドウ イーブックス」  
ホッカイドウ イーブックス実行委員会(株式会社 須田製版 内) Tel.011-621-1000(代表)

※折り込みチラシを削減しています。

# 広報あつま

## 2018年 1月号

平成30年

### もくじ CONTENTS

- 2 ひとのうごき
- 3 年頭のごあいさつ
- 4-5 2017年のあつまを振り返る
- 6-8 平成29年第4回定例町議会
- 9 ローカルモーカル研究会  
ともに語ろう、あつまの未来
- 10-11 お知らせ
- 12-13 12月のあつま
- 14 防災のページ
- 15 气象台ノート  
除雪作業についてのお願い
- 16 地域おこし協力隊・作品紹介
- 17 厚高インフォメーション・クラスじまん
- 18 健康情報
- 19 厚南会館運動教室  
健康づくり講演会
- 20 保健の掲示板
- 21 子育て支援センター
- 22 こども園 平成30年度園児募集
- 23 日本ハムファイターズ記念ボールプレゼント  
第18回ランタン祭り・第19回スターフェスタ
- 24-25 情報ひろば

### 今月の表紙 COVER

12月13日、総合ケアセンターゆくりで介護予防講演会が開催され、町民38人が参加しました。講師は第一興商(株)の専門インストラクターが2人。この日はカラオケ機器を使い、音楽に合わせて体操を行いました。参加者は楽しみながらリズムに合わせて体と頭の体操を行っていました。

